

活用部会の進め方と事例について

1 整備方針の活用について

(1) 浜田の歴史文化の保存と継承

保存・展示	資料を収集、整理し、適切な環境で保存する。
	資料を展示し、浜田の歴史文化を理解してもらう。
継承	資料を維持管理し、継承する。
	資料を調査、研究し、その成果を継承する。

(2) ふるさと郷育の拠点

学校教育	小学校	社会科	昔の道具調べや生活の移り変わりを学習する。 浜田と日本の歴史を関連付けて学習する。	
		理科	大地のつくりを石見曇ヶ浦の化石から学習する。 日本唯一の岩石である黄長石霞石玄武岩を学習する。	
		総合的な学習	学校周辺の歴史や偉人、石見神楽等の身近な歴史文化を学習する。	
	中学校	社会科	浜田と日本の歴史を小学校より掘り下げて学習する。	
		理科	浜田地震等により災害や大地変動を学習する。	
		総合的な学習	市全体の視点から歴史や伝統文化等について、生徒が考えながら取り組む学習を行う。	
	※ 小・中学校と資料館の移動はスクールバスを使用			
	高校	文化関係の部活動に活用する。		
		授業へ資料を提供し、生徒の関心を高める。		
	大学等	ゼミやレポート作成に活用する。		
県外出身の学生に浜田の歴史文化への関心を高める。				
生涯学習	公民館	浜田の歴史文化を紹介することで、地域への理解と愛着を持ってもらう。		
	各種団体	団体の希望するテーマに沿って、資料等を紹介し、浜田の歴史文化を理解してもらう。		
	個人	個人の希望に沿って情報を提供し、学習を支援する。		

(3) 市民や観光客の交流拠点

市民	交流の場	市民同士が研究発表や議論ができる場とする。
		交流イベント等を開催する。
観光客	情報提供	展示等により、浜田の歴史文化を知ってもらう。
		史跡や関係施設、観光地等の情報を提供する。

2 活用部会の進め方・協議内容について

作成：令和2年12月23日

トータルメディア開発研究所

(1) 活用部会のスケジュール

歴史文化保存展示施設専門検討委員会は、今回から3回にわたり、展示部会・活用部会に分かれて協議をおこなう予定。活用部会については、下記のスケジュールで検討を進める。

○第1回

- ・活用部会の進め方・協議内容について
- ・博物館の連携事例について
 - 学校連携の事例
 - 美術館連携の事例
 - 市民連携の事例
 - 観光連携の事例

○第2回

- ・浜田市歴史文化保存展示施設における施設連携の検討①
→たたき台を提示し、意見交換

○第3回

- ・浜田市歴史文化保存展示施設における施設連携の検討②
→第6回の意見を踏まえた構成の修正